

8月



園だより

2020年・8月号
ひまわり第2保育園
TEL 23-5978 Fax 23-7655
E-mail: dai2@h-himawari.net

園庭に咲くひまわりの花と背比べをする子どもたち。梅雨も明け、いよいよ夏本番。蝉の声と子どもたちの元気な声が園中に響いています。

8月生まれのお友だち

ひよこ組 1歳

ひかり 27日

りす組 2歳

まい 3日

つかさ 3日

いちか 25日

あきひと 26日

だいき 29日

うさぎ組 3歳

りつた 13日

あおい 26日

くま組 4歳

たいせい 5日

かほ 13日

るな 13日

きりん組 5歳

そうあ 24日

ぞう組 6歳

おとき 5日

ゆうた 5日

マイザ 22日

歌うよろこび

私たちは斎藤公子氏のさくらさくらんぼの保育に学び、丸山亜紀さんの曲にたくさん触れ、素敵なリズムや歌に魅了されています。保護者から「この保育園は知らない歌が多くて分からない…」と言われることがあり、歌詞をおたよりに載せ、楽譜を渡すこともありました。しかし、数年前の懇談会で「我が子が年長になってやっと歌と歌詞が分かるようになりました。普段の生活の中で親が教えることはいっぱいあるけれど、子どもから教えてもらうことは少なく、だからこそ保育園の歌を子どもから教えてもらうことは嬉しい」と話されたお母さん。子どもの歌を聴いているひと時は、たとえ歌詞やリズムが分からなくても、親子は共感し合えるのだと気づかされたのを今でも覚えています。

保育園の小さな子どもたちは大人の優しい歌声に身体を揺らし、心地よい眠りにつきます。少し大きくなると歌詞の語尾と一緒に歌い「もういっかい」と飽きることなく何度も繰り返す姿は微笑ましいですよ。大きくなるにつれ歌詞も覚え、年長になるとみんなで歌うことで一体感や共感関係も生まれ、子どもたちから歌いたい気持ちが伝わってきます。歌うことが楽しい！歌いたい！という気持ちが全身に溢れている子どもたちを見ると、こうして今日もピアノの周りに集まり、年長児と歌うことの楽しさを改めて感じているところです。

ぞう組 保育士

子育ての中で

子育ての中で そうすけが、ひまわり第2保育園に入園してから1年が経ちました。日々の保育のおかげで、大きな声で笑い、泣き、わがままボディを躍動させて遊べるようになりました。毎晩「今日はね、いーっぱい歩いた。」「カエルさん捕まえた。」など、園での体験を教えてください。Tシャツの泥汚れも、ズボンにできた穴も、がんばりの証です。ほんとうに、生まれた時から想像できないくらい、遅くなりました。そうすけは、予定日より3週間早く破水し、破水から3日間籠城しました。お薬に促されて「頭が出てきた!」と喜んだ矢先、その首にはへその緒が2周、べったりと巻きついていました。「嬉しい」よりも、「危なかった」という感情が大きかった、お産でした。黄疸がなかなか消えず、おっぱいをうまく飲めず、ぐったりと寝続ける小さな体を、ずいぶん心配したものです。子どもの「生きる力」をどうすれば伸ばせるか、考えなさいと言われていたようでした。子育てのスタートがそういう状態からだったためか、子どものできることが1つ増えると、毎回大喜びしてしまいます。昨日できなかったことが、今日から急にできるようになる。子どもの成長の早さには、驚かされます。そして、昨日必要だったお世話が、また1つ不要になる。おそらくあと10年もすれば、父親からの世話なんて、ほとんど不要になるでしょう。嬉しい反面、寂しく思う自分がいるでしょう。そうであるならば、今しかできないお世話の時間も大切に、子育てを楽しみたいと思っています。

うさぎ組 保護者

お知らせ・お願い

- ・県内の新型コロナウイルスの状況を考慮し「一日保育士さん」という形での園内の様子をご覧いただくことを中止いたします。
- ・8月13日(木)～15日(土)はお盆特別保育のため、お弁当の準備をお願いします。暑い時期のお弁当ですので配慮をお願いします。園でも気をつけて管理していきます。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
行事予定													お盆特別保育 お弁当の日							身体測定	安全点検の日				避難訓練			誕生会			
				8月の予定 																											

8月の予定



お盆特別保育
お弁当の日